

その名大口

※生徒集団そして生徒会の力量が問われる「文化祭」。雨天にもかかわらず、大盛況・大成功でした。高校生文化を發揮した生徒、そして母親バザー（P T A）や「ISAnoBA」・同窓会等みなさまのご協力に感謝申し上げます。生徒会を代表して、益園彩寧（3年）さんに寄稿してもらいました。

「We are Heloes ～私たちが主人公～」



今年の文化祭スローガンは「We are Heloes ～私たちが主人公～」。このスローガン通り、一人一人がヒーロー（主人公）となって、1年展示・2年食物バザー・3年舞台発表と、それぞれの持ち場で活躍し、来場してくれた方々を全力で「おもてなし」することができた。

生徒会の3年生は高校最後の文化祭に何を残せるのかと考えた時に、「指導性」という言葉に出会った。指導性とは、知識・技術・経験などを教え導くことである。昨年の文化祭で、私

たちは初めての学年合同食物バザーと中学生向けのツアーを企画した。その経験は今でも貴重だが、その経験の裏側には私たちを応援し支えてくれた生徒会の先輩方がいた。先輩方は自分たちのクラス準備が忙しい

中生徒会企画を全て準備し、私たち2年生がバザーや中学生ツアーに全力で打ち込めるようにサポートしてくれた。

私たちが先輩方のように、後輩を育てる機会を作らねばと思い、今回の生徒会企画は全て2年生に考えてもらった。執行部以外の生徒にも、鑑賞だけでなく参加してもらいたいという思いから生まれた「未成年の主張」では、ハプニングはあったものの生徒と観客が一体となって盛り上がる事ができた。また、スローガンに沿ったものを取り入れたいという意見から始まった「ヒーロー企画」では、たくさんの生徒や先生方に協力をもらい、スライドショーを作成した。

この2つの企画成功には、やりたいことをはっきり口に出し一歩踏み出した執行部2年生の行動力、支えてくださった先生方そして多くの生徒の協力があってこそのものだと思う。私たち3年生も、自分たちがサポートに回るのは初めてのことで、昨年の先輩たちが教え導いてくれたことの大切さを再認識する機会にもなった。

また、PTA女性部の物品バザーに加え、昨年度から「ISAnoBA」として出店してくださっている地域の方々にも支えられ、大口高校の文化祭はよりたくさんの方々を楽しんでもらえる行事になってきている。これからもより質の高い「文化祭」を企画し、大口高校の生徒一人一人が主人公として地域の感謝を忘れることなく充実した高校生活を送れるように、生徒会執行部としても尽力していきたい。

「テストにのぞむにあたって」 3学年 和田純一先生

文化祭が終わり約1週間が経ちました。進路実現に向けて気持ちの切り替えを始めましたか。明日から、みなさんにとって大事なテストが始まります。今日はテストにのぞむにあたって意識してほしいことを話します。

先日、某大学の進学説明会に参加してきました。その中で、「5点で1,050人が涙」という話がありました。これは、昨年その大学の受験で5点足らずに不合格になった受験生が1,050人もいたということです。みなさんが1点で涙することがないように、希望進路別に話をしたいと思います。

右上は、教育応用心理研究所の森山武志先生を招いての「クレペリン検査の効果的な活用法」の職員研修(6/24)の様子。右下は、「進学指導に関する保護者への説明会」(6/25土)の様子。



進路指導部の今年度の新企画です。多様になっている入試制度。

学費や各種奨学金等、さまざまな保護者の疑問に答えました。

まず、国公立大学などセンター試験受験予定者は、センター試験まで残り約半年です。まだ半年ではなく、もう半年しかありません。この半年で精一杯学力をあげてください。昨年のセンター試験は約53万人もの人が受験しています。つまり1点違うだけで、何千人にも抜かれるということです。その1点にこだわって、テストに全力で挑んでください。また、定期考査を頑張ることがまず第一ですが、模試の復習をきちんと行うこと、模試の受けっぱなしにならないように。先生は模試の復習をおろそかにしてしまい希望の大学には進めず、辛い思いをしましたので、ぜひみなさんには実践して欲しいです。

次に、私大・短大・専門学校進学希望者へ。みなさんの多くがAO入試や推薦入試を利用し、受験が面接や作文・小論文だけという場合が多いでしょう。しかし、「学力試験がないから大丈夫」は大間違いです。AO入試・推薦入試共に、【面接が〇〇点、書類(調査書)〇〇点】などと配分が決まっています。つまり、今みなさんがしなければならないことは、テストに全力で取り組み、少しでも調査書に記載される評定をあげなければならないということです。また、多くの方が進学先で国家試験合格や検定・資格取得に向けて頑張らなくてはなりませんので、入学がゴールではなく、在学中にきちんと学力をつけておきましょう。そのためにも、明日からのテストに全力で取り組んでください。

最後に、就職希望者へ。試験の多くが面接・作文・一般常識です。範囲に限りがない一般常識の最善の対策は、日々の授業に真剣に取り組むことです。そしてテストで自分の力を試してみましょう。また、「もう勉強したくないから就職する」という言葉を良く耳にしますが、それも大きな間違いです。先日、三者面談の中である保護者が、「いろんな資格をとらないといけなかったり、仕事を覚えないといけなくて大変。毎日勉強です。」と話をしてくれました。どの仕事においても、新しいことを覚えたり、資格をとったりするために日々勉強しなくてはならないわけですね。ある資格をとれば給料がアップするという話もよく聞きます。先生も教員生活13年目ですが、毎年新たな仕事があり、常に勉強しなくてはなりません。社会人になっても勉強し続けねばなりませんので、在学中に勉強する習慣をきちんと身につけておいてください。

入学・入社という一番近い目標だけではなく、その先の自分の将来の目標に向けて、明日からのテストに全力で取り組んでください。みなさんのがんばりを期待しています。